測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2020/12

Ver3.4.6 で追加、修正された機能を説明します。

・[BlueTooth 設定]、接続先を個別に保存
・[GPS 座標測定]、 結線機能を追加
・座標系の選択に地名を表示
・Trimble 測設を修正

1 、[BlueTooth 設定]、接続先を個別に保存

[BlueTooth 設定]では、 1 個のデバイスしか選択、保持できませんでした。
ところが、TS,GPS,レベルと、それぞれ BlueTooth デバイスが異なる場合に
その都度、選択する必要があり不便です。
そこで、TS,GPS,レベル毎に一度接続すると、保持するように変更しました。
一度行えば、以降は A-AdB の操作は[Off]ボタンを押すだけになります。

「放射トラバース」から「BlueTooth 設定」を選択すると
下記のように、○TS が選択された状態です。
ここで、デバイスを選択します。
(既に、使用している方は行う必要はありません。)

現在選択されているデバイス名に

☆☆☆☆☆が付いています。

「GPS 座標測定」から「BlueTooth 設定」を選択すると
下記のように、○GPS が選択された状態です。
ここで、デバイスを選択します。
ON になれば、保持されます。

現在選択されているデバイス名に

☆☆☆☆☆が付いています。

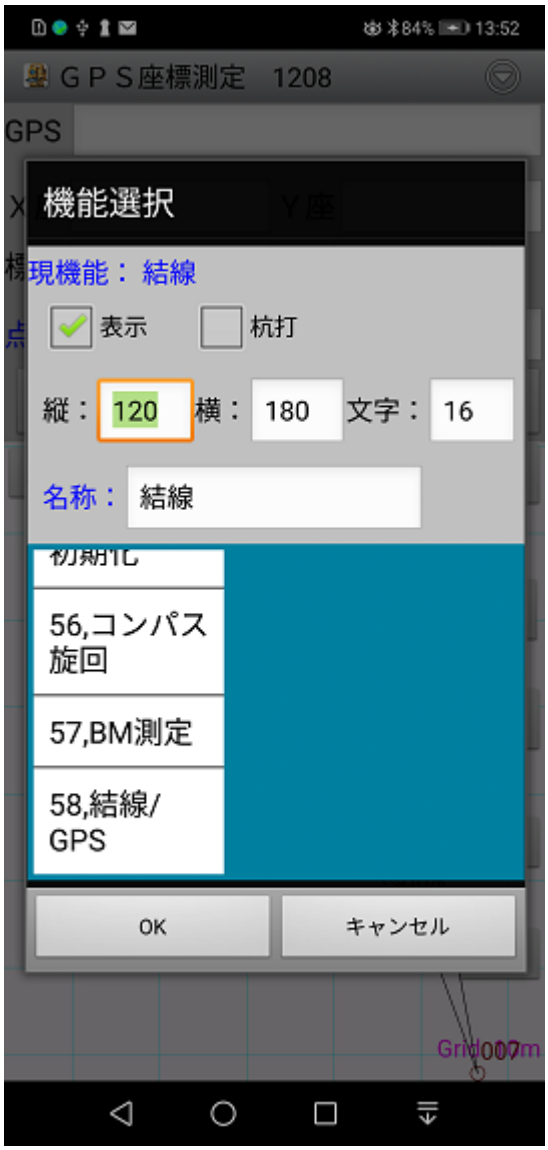
「簡易水準測量(器械高式)」から「BlueTooth 設定」を選択すると
下記のように、○Level が選択された状態です。
ここで、デバイスを選択します。
ON になれば、保持されます。

現在選択されているデバイス名に

☆☆☆☆☆が付いています。

２、[GPS 座標測定]、 結線機能を追加

要望がありましたので、追加しました。
「放射トラバース」　の「結線」のチェックボタンと同じ機能を、マルチボタンで実現しました。
MultiBton.txt　を更新してください。



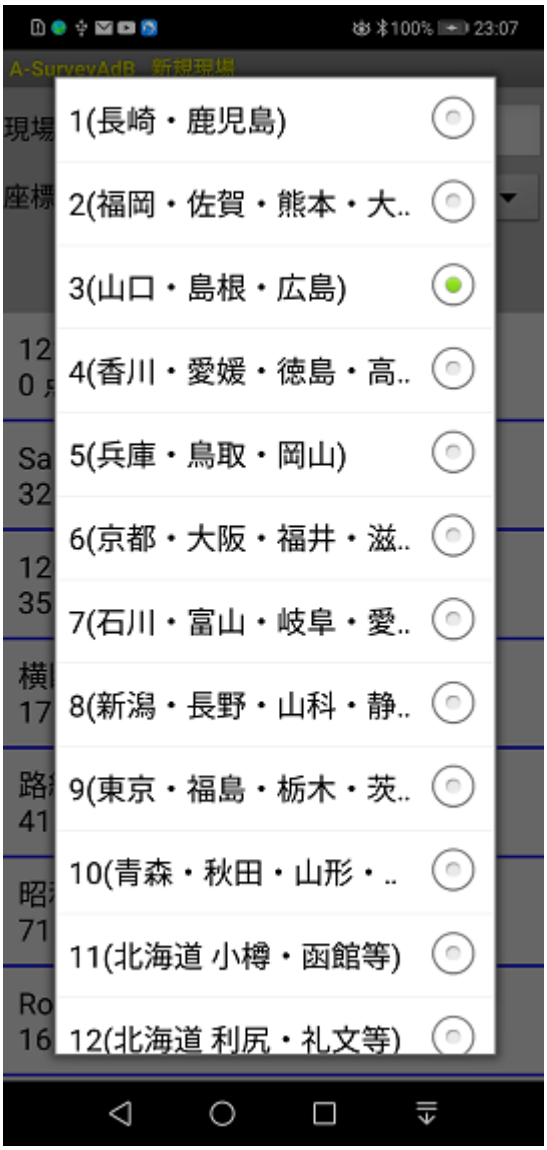
「結線」ボタンを押すと、文字の色が赤になります。
この状態で、登録すると前点から結線されます。
もう一度、押すと文字の色が黒になります。
OFF の状態です。
このボタンは、「GPS 座標測定」にしか表示されません。

線種のボタンも有効に機能します。

「マップ GPS」では、「ライン」ボタンは任意位置か結線の端点と結線する機能です。
同様に、「結線」ボタンを追加しました。
使い方は、同じです。
「マップ GPS」では、マルチボタン機能は使用できませんので、このボタンは固定で配置されているボタンです。
線種の選択は有りません。

3、座標系の選択に地名を表示

座標系の選択時に、地名を表示するように変更しました。



詳細は下記を参照。

https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/jpc.html

４、Trimble 測設を修正

説明書、A-SurveyAd_182.pdf　の下記の処理が出来なくなっていましたので修正しました。

「TS 条件」で、“TS で測設する”にチェックを付けている場合です。

次の点への案内

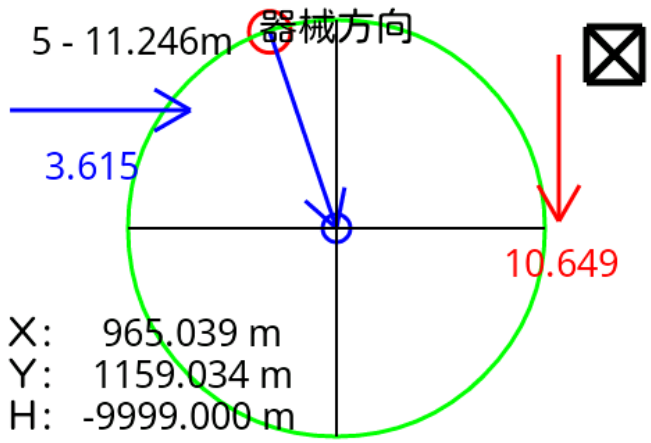
杭打ちで、次の点を指示すると現在の観測値から
次の点への、前後左右を案内することができます。

ところが、この測設機能を使用した場合は、
観測値が無いので次点への案内が出来ません。
そこで、前点の夾角と距離を観測値と仮定し次点の案内を
可能としました。

<———　K13 を指示した。

<———　K13 への夾角と距離

<———　このデータは、この前に指示した K12 への夾角と距離です。
これを仮の観測値として、K13 への前後左右を案内しています。
測定していませんので「登録」はできません。



K12 の測設が終わり、次の K13 を指示した場合にミラーマンが、今の K12 の位置からどの方向へ動けばよいかを表してします。